

第5回千葉県小中学生スポーツクライミング大会プログラム

1. 主催 一般社団法人 千葉県山岳・スポーツクライミング協会 (CMSCA)
2. 主管 千葉県フリークライミング協会 (CFA)
3. 趣旨 小中学生の心身の健全な発達とスポーツクライミング競技の普及をはかり、併せて令和3年度関東地区小中学生スポーツクライミング交流大会の本県代表選抜を行う。
4. 期日 令和3年10月24日(日)
5. 会場 千葉県立幕張総合高等学校 クライミングウォール
6. 大会日程および全体的な注意事項

10月24日(日)

8:10~ 受付担当、選手誘導担当集合 (8:15 打合せ)

8:30~ 選手受付開始 (8:30~ 8:45 役員打合せ)

8:55~ ウォームアップ

9:30~12:00頃 競技(男女各2ルート)

- *受付について、会場入りの時間が決まっています。時間内に受付を必ず行ってください。その際「健康チェックシート」と「ロープ仕様申告書」を提出し、検温を受けてください。「健康チェックシート」と「ロープ仕様申告書」がない場合は参加できません。
 - *大声を出して応援や身体的な接触は避けてください。会場内では十分な距離を保ってください。その他 11.の『 新型コロナウイルス(COVID-19)感染防止対策について 』をよく読んで感染の防止に努めてください。
 - *受付終了後は、指定された時間内でのみアップ壁でウォーミングアップが可能です。感染防止のため一度にアップできる人数を限定しています。アップができる時間が終了したら速やかにウォームアップエリアから退場してください。競技時間の5分前には各ルートの前にハーネスを付けてロープを持参のうえ集まってください。ロープやハーネスなどクライミング用具の貸し借りはしないでください。
 - *変則的フラッシングで2本のルートを登り、順位を付けます。競技時間は6分です。男子は1本目Aルートを登り2本目Bルートを登ります。女子は1本目Bルートを登り、2本目Aルートを登ります。決勝はありません。放送による競技説明は行いますが、開会式、閉会式、表彰式はありません。
7. 競技方法及び競技規則

原則として IFSC の国際ルールに準じて行う。

- ① 変則的フラッシング・リード方式。各選手は2本のルートを登る。競技時間6分。椅子から立ち上がった時点から40秒以内に登り始めなければならない。両足が地面から離れた時点で時間計測開始。
- ② ルートはテープで示したホールドのみを手足限定で使用して登る。

- ③ テープで示したホールド以外を使った場合には同じ場所で1回目警告、2回目競技終了を原則とする。それらを使って進んだ場合は元の位置に戻る。元の位置に戻れない場合には競技終了とする。
- ④ すべてのクイックドローに順番にクリップすること。Zクリップをした場合は、クイックドローを外して再び正しくかけ直すこと。
- ⑤ 選手はいつでも残り時間を聞くことができる。
- ⑥ 次の場合には競技が中止され、最高到達点が計測されて成績となる。
- ・ 墜落した
 - ・ 競技時間を越えた
 - ・ 人工的補助手段を用いた
 - ・ 使用が制限されているホールド（同じ場所で一回目注意、二回目競技中止）、壁の一部、エッジ（壁の下部4mの左右両端）、はりぼて、ハンガーボルト、クイックドローを登るために使用した。
 - ・ クリップすべきカラビナに、同一カテゴリーのどの選手も手で触れることのできない位置まで進んでしまった。
 - ・ 下のクイックドローにクリップしないまま、次のクイックドローにクリップした。
 - ・ アテンプト開始後、体の一部が地面に触れた。
- ⑦ ゼッケンは背面中央のよく見える位置に付けること（足などに付けない）。
- ⑧ テクニカルインシデント
1. 次のような場合、選手は申告すれば登り直すことができ、よい方が成績となる。
 2. 申告せずに登り続けた場合にはその権利を失う。
 - ・ ホールドの回転
 - ・ 2回以上たぐってもロープが来なかった など。
- ※ クライミングシューズの裏に剥がれたテープが付いた場合はテクニカルインシデントにはならないので十分注意すること。

8. 順位決定方法

ア ルートのラインに沿った最高到達位置でそのルートの選手の順位を決定する。同着がいる場合は平均順位。

イ 2本のルートの順位の相乗平均で順位を決定する。 $\sqrt{1本目のルート \times 2本目のルート}$

9. 大会の中止について

今後の新型コロナウイルス(COVID-19)の感染状況が悪化した場合、大会を中止することがありますので、予めご了承ください。

10. 個人情報の取り扱いについて

大会に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

1 1. 新型コロナウイルス(COVID-19)感染防止対策について

1) 会場

- ・ 選手、保護者、大会役員以外の入場を禁止する。
- ・ 会場入場者（選手、保護者、大会役員）の距離はできるだけ2m（最低1m）を確保できるようにする。
- ・ 人と人が対面する受付の場所は、玄関の外とし、フェイスシールドとマスクを着用して対応する。
- ・ 感染予防のための消毒薬、石鹸、体温計、マスク、などを準備する。
- ・ 会場内は蓋付容器の飲料摂取のみ OK で食事は禁止とする。

2) 参加選手・保護者・大会役員への注意事項

- ・ 事前健康チェックを行い、「健康チェックシート」を受付に提出する。
「健康チェックシート」には保護者印が必要となる。事前健康チェックにおいて発熱、咳、倦怠感などの症状が続いている場合、当日の朝の健康チェックにおいて 37, 5 度以上の発熱がある場合、また同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合は、入場を原則禁止する。
- ・ マスクを着用し、三密防止に努める。手の消毒、石鹸での手洗いを徹底する。
- ・ 大声での応援、身体的な接触を避ける。

3) 参加選手への注意事項

- ・ 選手は個人持込ロープ仕様申告書（受付で提出）に記入した個人のロープを持参し使用する。
 - ※1 ロープは、シングルで PSC、EN892、UIAA に適合していること。長さは 40m 以上とする。ロープの径は呼び径 9.0mm～10.0mm とする。(6 月 30 日付 IF 基準による)
 - ※2 持参するロープは、上記※1 に指定する条件を満たし、安全に使用できるものとし、経年劣化や高頻度の使用によって外皮に損傷のないものを事前に十分チェックして用意すること。以下のような状況にあるロープは使用できない。
- ・ 通常クライミングでは使用しない化学物質（酸、バッテリー電解液など）に触れたことがある
- ・ 芯が見えている
- ・ 外皮が激しく毛羽立っている、損傷している
- ・ 外皮と芯がずれている
- ・ 部分的に硬くなったりまたは柔らかくなったりして他の部分と違和感がある部分が生じている
- ・ 長い墜落や落下係数 1 を超える墜落を受けた
- ・ ひどく汚れている
- ・ 摩擦による熱や火などの熱を受けたことがある

- ・ 毎週の使用で1年以上経過しているもの
 - ・ 月1～3回の使用で3年以上経過しているもの
- ※3 指定する条件のロープをどうしても用意できない場合には、10月16日(金)までに申し込み先に必ず連絡して相談すること。
- ・ クライミング道具は全て個人の持ち物を使う。
 - ・ チョークは液体チョークを推奨する。
 - ・ 競技中以外はマスクを着用する。
 - ・ 他者の汗に触れることを防止するため、各選手は共有エリアで座る際に、個人用ビーチタオル(最小150cm×70cm)を持参し、待機場所およびコールゾーンの椅子の上に置かなければならない。
 - ・ ウォームアップエリアの使用は時間制とする。
 - ・ フィジカルディスタンスの徹底。(受付時、待機時などあらゆる場面で)
 - ・ ルートごとの仮成績を数か所に分けて掲示するので、選手のみ、密にならないように分散して確認し、抗議がある場合は5分以内に行う。
 - ・ デモビデオは館内での上映は行わず、大会前日の指定時間以降に YouTube 配信で行う。

4) 式典

- ・ 開会式、表彰式、閉会式などは行わない。競技説明および成績掲示のみとする。

新型コロナウイルス感染防止対策にご協力いただけない場合は、会場から退出していただきます。

12. その他

1) (公社)日本山岳・スポーツクライミング協会への選手登録が義務付けられています。必ず選手登録を済ませて参加して下さい。

2) 本大会により第7回関東小中学生クライミング選手権大会リード競技(仮)の出場選手を選抜します。

主催：関東地区山岳連盟

場所：群馬県前橋市 ALSOKぐんま総合スポーツセンターサブアリーナ

日程：令和3年11月21日(日)

選抜方法について

第7回関東小中学生クライミング選手権大会リード競技の規定に基づき、CMSCA 選手選考委員会により選抜する。

13. 受付/ウォームアップ/スタートリスト

男子 受付/ウォームアップ/スタート リスト

| 受付時間 | ウォーミングアップ | | 競技開始時間 | | ゼッケン | | 姓 名 | セイ | メイ |
|------|-----------|------|--------|-------|------|-----|----------|------|--------|
| | 始 | 終 | Aルート | Bルート | | | | | |
| 8:30 | 8:55 | 9:15 | 9:30 | 10:54 | 1 | 小 男 | 菊 沢 惺 | キクサワ | サトル |
| 8:36 | 9:01 | 9:21 | 9:36 | 11:00 | 2 | 小 男 | 高 木 健太 | タカギ | ケンタ |
| 8:42 | 9:07 | 9:27 | 9:42 | 11:06 | 3 | 小 男 | 石 田 奏 | イシダ | ハク |
| 8:48 | 9:13 | 9:33 | 9:48 | 11:12 | 4 | 小 男 | 伊 藤 柊太 | イトウ | シュウタ |
| 8:54 | 9:19 | 9:39 | 9:54 | 11:18 | 5 | 中 男 | 竹 久 瑛 | タケヒサ | アキラ |
| 9:00 | 9:25 | 9:45 | 10:00 | 11:24 | 6 | 中 男 | 中 島 凌太郎 | ナカジマ | リョウタロウ |
| 9:06 | 9:31 | 9:51 | 10:06 | 11:30 | 7 | 中 男 | 稲 葉 壮祐 | イナバ | ソウスケ |
| 9:12 | 9:37 | 9:57 | 10:12 | 11:36 | 8 | 中 男 | 波 多 野 英博 | ハタノ | エデン |

女子 受付/ウォームアップ/スタート リスト

| 受付時間 | ウォーミングアップ | | 競技開始時間 | | ゼッケン | | 姓 名 | セイ | メイ |
|------|-----------|-------|--------|-------|------|-----|---------|------|-----|
| | 始 | 終 | Bルート | Aルート | | | | | |
| 8:30 | 8:55 | 9:15 | 9:30 | 10:42 | 1 | 小 女 | 小 林 律香 | コバヤシ | リツカ |
| 8:36 | 9:01 | 9:21 | 9:36 | 10:48 | 2 | 小 女 | 西 村 優杏 | ニシムラ | ユア |
| 8:42 | 9:07 | 9:27 | 9:42 | 10:54 | 3 | 小 女 | 望 月 咲希 | モチヅキ | サキ |
| 8:48 | 9:13 | 9:33 | 9:48 | 11:00 | 4 | 小 女 | 原 菜都美 | ハラ | ナツミ |
| 8:54 | 9:19 | 9:39 | 9:54 | 11:06 | 5 | 小 女 | 玉 城 陽南美 | タマシロ | ヒナミ |
| 9:00 | 9:25 | 9:45 | 10:00 | 11:12 | 6 | 小 女 | 菊 池 心乃香 | キクチ | コノカ |
| 9:06 | 9:31 | 9:51 | 10:06 | 11:18 | 7 | 小 女 | 廣 瀬 董 | ヒロセ | スミレ |
| 9:12 | 9:37 | 9:57 | 10:12 | 11:24 | 8 | 小 女 | 長 崎 莉央 | ナガサキ | リオ |
| 9:18 | 9:43 | 10:03 | 10:18 | 11:30 | 9 | 中 女 | 的 場 朱杜 | マトバ | スズ |
| 9:24 | 9:49 | 10:09 | 10:24 | 11:36 | 10 | 中 女 | 遠 藤 楓奈 | エンドウ | フウナ |
| 9:30 | 9:55 | 10:15 | 10:30 | 11:42 | 11 | 中 女 | 二 瓶 七海 | ニヘイ | ナナミ |
| 9:36 | 10:01 | 10:21 | 10:36 | 11:48 | 12 | 中 女 | 村 杉 汐里 | ムラスギ | シオリ |
| 9:42 | 10:07 | 10:27 | 10:42 | 11:54 | 13 | 中 女 | 高 橋 小百合 | タカハシ | サユリ |
| 9:48 | 10:13 | 10:33 | 10:48 | 12:00 | 14 | 中 女 | 姉 帯 咲良 | アナタイ | サクラ |

<競技役員役割分担>

競技委員長&リザルトサービス：有地（CFA）

ルートセッター：古畑和音

審判長：目次（CFA）

審判員：阿部（CFA）、飯田恒次（CFA）

スコアラー&タイムキーパー：野村（CFA）、梶谷（CFA）

判定用ビデオ：波多野（CFA）、萩原（CFA）

受付、選手管理：原 智子（CFA）、的場（CFA）、二瓶（CFA）

ビレイヤー：菊沢（CFA）、松谷（CFA）、原 慈妙子（CFA）、岸田（CFA）、
深見則義（CFA）、深見沢子（CFA）、中井晶子

救護：波多野（CFA）

<仕事内容>

競技委員長：大会運営全般の統括。競技の進行。

審判長：審判業務の統括。審判の判定への助言。競技ルールの説明。

審判員：競技の判定。競技進行や判定などで問題が生じた場合には審判長と協議して
対処する。

スコアラー&タイムキーパー

：計測用デジタルタイマーを正確に作動させる。クライミングタイムに記録。

選手は40秒以内に登り始めなければならない。

選手が地面から離れた時から6分間計測。

ビレイヤー：マスク、フェイスシールドを着用し、選手との距離も適度に保つ。

待機中の選手のハーネスとエイトノットが確実に装着されているかの確認。

危険な選手に対しては安全を最優先に対処する。下から3本目まではクリップが安全に行えるよう声をかける。ダイナミックビレーで安全に停止させ、
選手を必要以上に長く墜落させない。

ビデオジャッジ：判定用ビデオカメラ2台での撮影。

選手の体全体（足を置くホールドから、手で次を取るホールドまで）が十分画面に入るように撮影。

誘導：該当する順番の選手を順に誘導して待機させる。選手間の距離をとるよう配慮する。

リザルトサービス：成績表の作成とホームページへのアップ。賞状の作成。

受付：・選手の出欠、氏名の確認、検温

・健康チェックシート、ロープ仕様申告書の受領、確認。

・ゼッケン配付、資料の配付。

・ロープの確認（長さは40m以上。ロープの径は呼び径9.0mm~10.0mmとする。
劣化していないか。）

< 物品の準備 >

| 品目 | 担当者 | 品目 | 担当者 |
|---------------------|-----|----------|-----|
| ゼッケン黒 赤 | 阿部 | 非接触型体温計 | 阿部 |
| 救急薬品 | 阿部 | ブラシ | 阿部 |
| ノートパソコン | 有地 | タイマー 2 台 | 阿部 |
| プリンター | 有地 | ストップウォッチ | 阿部 |
| コピー用紙 | 有地 | クリップボード | 阿部 |
| マイクアンプスピーカーセット | 阿部 | ルート図用紙 | 目次 |
| ビデオカメラ (高体連所有 2)・三脚 | 阿部 | カラー粘着テープ | 阿部 |
| SD カード | 阿部 | 筆記用具 | 阿部 |
| 記録用カメラ | 目次 | CMSCA 旗 | 阿部 |
| クライミンググローブ (予備) | 阿部 | 配布資料 | 有地 |
| フェイスシールド、マスク | 有地 | | |
| | | | |
| | | | |